

阪神さくら地区のみなさんへ

## トルコ・シリアにおける地震災害への支援に関して

令和5年2月8日

阪神さくら地区

地区委員長 青木教至

地区コミッショナー 山本浩介

報道でご存じの通り、トルコ南部を震源地とする地震でトルコ、シリア両国において甚大な被害が発生しています。多くの方が亡くなられ、寒さの中多くの方が家をなくし避難している状況に心が痛みます。またシリアに関しては長年にわたる内戦状態にあることから重ねて苦しい状況におかれていることでしょう。

私たちは28年前に阪神淡路大震災を経験しましたが、その時、国内のみならず世界中から支援の手を差し伸べていただいたことを忘れていません。

遠く離れた国のことですが、私たちにできることを今一度みんなで考えてみましょう。それも一つのスカウティングの形であります。街頭募金をするというのも一つでしょうし、そのほかの形も当然あるでしょう。

例えば、2月に各団で行われるであろうB-P祭において、みんなで少しずつお金を持ち寄って集めるということもいいかもしれません(2月22日は世界友情の日でもあります)。また、そのような機会を地域に呼び掛けることもいいでしょう。地域に影響を与えるというのは「社会との協同」という教育法の要素の一つでもあります。

地区では3月15日の地区協議会において金員が集まれば、そのとりまとめをして、国際赤十字などしかるべきところに送金をします(送金先については追って連絡)。もちろん、地区を通さずに団独自で送金先を決めて送金していただいても構いません。

少しでも悲しみ苦しむ人々に寄り添うことができ、そういう経験を通じてスカウト自身の「国際愛と人道主義」の把握と実践につながることを期待いたします。各団、各隊、各班、あるいは一人ひとりが考えていただければ幸いです。